

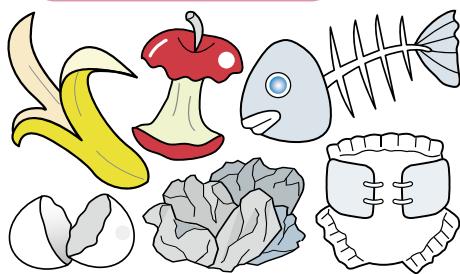
燃やすごみ

週2回収集

大きさ60cm未満、かつ、重さ10kg未満のものに限ります。

出してよいもの

生ごみ・紙くず類



- 料理くずなどの生ごみ
- 汚れた紙くず
- アルミ箔
- おむつ(汚物はトイレへ)など

衣料品・繊維製品



- 布団、毛布
- 衣料品
- ぬいぐるみなどの繊維製品など

リサイクルできないプラスチック



革製品・合成皮革・ゴム製品



- 靴
- バッグ
- ボール
- グローブ
- など

木製品・木切れ・剪定枝



- 剪定枝
- 落ち葉
- ハンガー(木製)
- など

※木枝と葉は切り分けて、葉は袋に入れて出してください。

- 紙、木、金属等が複合しているプラスチック製品や軟らかいプラスチック

- ・ビデオテープ
- ・CD
- ・スponジ
- ・洗濯ばさみ
- ・梱包用バンド
- ・ビニールホース
- ・歯ブラシ
- ・ビニールひも

- 容器包装プラスチックのうち汚れの落としにくいもの

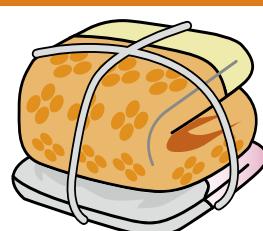
出し方・注意点



食用油は、スーパーなどの回収ボックスを利用しましょう。(食用油のリサイクルについて、次ページ参照)



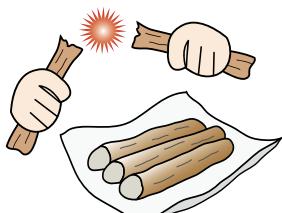
規格袋に入らないものは、袋を開いて巻きつけるか、張り紙をして出してください。



布団、じゅうたん類は60cm未満にして、ひもでしばって出してください。



剪定枝は長さ60cm、直径“一束”20cm未満にして、ひもでしばって出してください。
※一度に大量に出されたものは収集できません。(1回2束程度まで)



竹串やようじなど、とがったものは、危険のないよう短く折るか、紙に包んでください。



プラスチック製の容器や包装は、「容器包装プラスチック」の日に出してください。



リサイクルできる紙類は、「古紙類」の日に出してください。



草や木の葉などは、乾燥させてから出してください。土や石は、ごみではないため、市で収集しません。



これがポイント!

家庭から出るごみのうち、約8割は「燃やすごみ」です。ごみとして出す前に
次のようなことを実戦して、減量化に取り組んでいきましょう。

生ごみのもとを減らそう!

■燃やすごみの約3割は生ごみ! 食べ残しや料理くずを減らしましょう。

燃やすごみのうち、重さで約3割は生ごみとなっています。この生ごみを減らすためには、まず、生ごみを発生させないことが重要です。

「買すぎない」、「作りすぎない」、「食べ残さない」ことを心がけてみましょう。

食事の食べ残しや食材の使い残しが多ければ多いほど、生ごみが多くなってしまいます。

食べる量を考えて、買い物や調理方法を工夫しながら、生ごみのもとを減らしましょう。



生ごみは水切りをしよう!

■生ごみの約80%は水分!

燃やすごみの高い割合を占める生ごみですが、その生ごみのうち、約80%は水分といわれています。

水分が多いと運ぶのに重いだけではなく、腐りやすく、悪臭や汚れの原因となります。そのため、生ごみは水分を十分に切ることがとても重要です。



生ごみを堆肥化しよう!

■家庭用生ごみ処理機・生ごみ処理容器で ごみ減量・資源化をしましょう!

家庭用生ごみ処理機・コンポスト容器・密閉型容器を使うと生ごみを約1/7～約1/10に減らすことができ、処理したものは肥料として家庭菜園などに利用することができます。

市では購入費用の一部補助を行っています。
詳しくは…
資源循環推進課
☎22-7559



食用油をリサイクルしよう!

■使用済みの天ぷら油は、 リサイクルできます!

家庭から出る使用済みの天ぷら油は、スーパーなどの回収ボックスを利用しましょう。

また、回収された油は、軽油の代わりの燃料になったり、せっけんとしてリサイクルされます。

詳しくは…
いわき食用油リサイクル
ネットワーク事務局
☎56-2776



古着をリサイクルしよう!

■家庭でいらなくなつた衣類も、 捨てずにリサイクルをしましょう!

家庭で不要になった衣類も他の人が必要としています。

リサイクルショップや古着のリサイクルを行っているところに渡したり、フリーマーケットに参加してみたり、ごみとして捨ててしまう前に、有効に活用する方法を考えてみましょう。



※市内の各施設に回収ボックスを設置しております。

燃やすごみ

大型ごみ

市では
収集しないもの

分別早見表

施設案内について

問い合わせ先